

まちづくり

住民参加による個性豊かな

● 独居老人等への火災警報器設置に補助

高齢者や障害者の方を火災から守ろうと、町では本年度町内の70歳以上の独居と身体障害者世帯が設置する住宅用火災報知器に補助金を設け、区や区の自主防災会などが主体的に設置する事業に一世帯一個限定で、1,500円を交付する制度をスタートしました。設置を通じて世帯把握、避難誘導や安否確認などにも役立てればとの目的もあります。命の安全はもとより、「地域で見守るネットワークづくり」のこの事業をぜひご活用ください。

● デイサービス用新送迎用車両購入

(財)自治総合センターの宝くじ普及広報事業「共生のまちづくり助成事業」の補助をうけ、本年度9月町老人デイサービスセンターの送迎用車両1台を購入しました。10人乗りのワンボックスで、車イスのまま乗り降りできる昇降リフトが装備。また車内に手すりなど、通所される皆さんに配慮された仕様となっていますので、安心してご利用ください。



● 「ふれあいカード 笑顔くん」スタート

町は、本年度4月から高齢者応援策として「ふれあいカード 笑顔くん」事業をスタートしました。この制度は、町内にお住まいの70歳以上の皆さん全員に高齢者応援カード「ふれあいカード 笑顔くん」を配布し、この事業に協賛する町内事業所・店舗等から独自に提供いただく「心温まる各種サービス(湯茶、休憩、トイレ、割引き等)」が受けられるなど、高齢者を支援していくものです。



サービスを提供する人も、利用される方も「共に笑顔」のやさしいまちづくりが始まりました。

● 福祉医療費の助成拡大

町では、乳幼児・障害者の方等対象に医療費負担の軽減を図るため、福祉医療費給付制度を実施していますが、本年度から「乳幼児等医療費給付金」の対象がこれまでの小学校3年生から6年生までに、また精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、1級から1・2級(通院のみ)に拡大されました。

5 行政改革の推進

● 事業別予算説明書の発行

町は町民の皆さんがより身近に行政を知っていたくため、町が行っている事業を予算と照らし合わせ、目的別に分かりやすくお知らせする「事業別予算説明書」を作成、5月に全戸配布しました。税金がどのように使われているかを含め、重点事業、新規事業など22年度に実施する事業について、その概要と中身を説明しています。

● 役場機構改革～収納対策室など新設～

「収納対策室」と「健康づくり推進室」を新設。役場の組織強化とまちづくり推進のため新たに2つの室を4月設置しました。税に限らず他の水道料金等も併せた収納対策を進めるため、税務課内に収納対策室を、また町民の誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくりを目指して、保健センター内に健康づくり推進室を設置しました。

友好交流事業 ～中国開封市友好代表団が来訪～

下諏訪町と友好交流の関係にある中国河南省・開封市から7月、王学傑人民政府副市長をはじめ、教育、環境保護などの行政関係者6人が来町し、交流の輪を一層深めました。今回の来訪は、2005年以来6度目となるもので、青木町長、山田議会議長への表敬訪問はじめ、交流のきっかけとなった水運儀象台、第5保育園・図書館など町施設、木落坂などを見学しました。歓迎レセプションでは、木遣りの披露や北小学校児童による合唱での歓迎など、にぎやかで多彩な催しで歓迎。参加した多くの方々と末永い友情を誓い合いました。



町政運営の舵取り 副町長人事



小林 副町長

新副町長に小林繁人さんが就任 ご活躍を期待します

就任あいさつ
副町長の任はこの身に余る光栄。四十二年間の行政経験を活かし町政、町民のため微力ではありますが、一意専心の気概を持ってあたりたいたい。厳しい財政状況のなか、重責を全うできるように努めたい。

町議会十月臨時会が十月十二日開かれ、任期満了となる丸山道夫副町長の退任に伴い、後任に小林繁人氏(社東町)を選任することに同意しました。また、副町長がつとめる固定資産評価委員の選任についても、同意しました。(任期は平成二十二年十月十八日から四年間)

丸山副町長が退任されました たいへんご苦労さまでした



大勢に見送られ
役場を後に

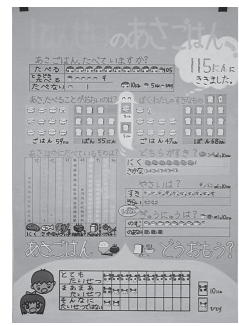
退任あいさつ
任期を全うできたのも、町長の理解、全職員への支えがあったからこそ。この四年間全力で、任にあたってきたが、これからの下諏訪町の一層の発展をご期待申し上げるとともに更なる改革を願うものです。

第五十八回統計グラフ全国コンクール 下諏訪町の二人の児童・生徒が入賞

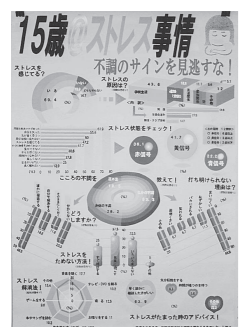
「第五十八回統計グラフ全国コンクール」の審査結果が、(財)統計情報研究開発センターから発表されました。長野県からは三点が入賞し、そのうち二点(特選一点、佳作一点)が町から出品した作品という快挙を達成しました。

- 第一部「佳作」 宮坂歩奈さん
- 第二部「佳作」 南小一年「二年生のあさごはん」
- 第四部「特選」 浜 遥季 社中三年「十五歳@ストレス事情

不調のサインを見逃すな!



第1部 [佳作] 宮坂 歩奈さん



第4部 [特選] 浜 遥季さん

宝くじの助成金で整備しました

第1区自主防災会・第10区が 助成事業を活用

第1区自主防災会及び第10区ではこのほど、(財)長野県市町村振興協会が行う宝くじの収益金を活用した助成事業の適用を受け、携帯無線一式と暖房機などを購入しました。市町村振興に大きく寄与する宝くじの収益金は、明るく住み良いまちづくりに使われています。

携帯無線機や 暖房機などを購入

第一区自主防災会及び第十区は、(財)長野県市町村振興協会の平成二十二年年度コミュニティ助成事業の「自主防災組織育成助成事業」及び「一般コミュニティ助成事業」を活用し、次のとおり備品等を整備しました。

- いざの時に備え、携帯無線機を整備**
第一区自主防災会では、災害発生時に災害対策本部、正副区長、各町内会長が情報収集や情報伝達を行うため、携帯無線機等を購入しました。
- 事業内容** 携帯用無線機等の購入
- 事業費総額** 約百九十七万円
- (うち助成額 百九十万円)**
- 富部地区公民館の施設の充実へ**
第十区では、富部地区公民館の施設を快適かつ安全に利用していただくため、同館に暖房機とじゅうたんを購入しました。
- 事業内容** 暖房機及びじゅうたんの購入
- 事業費総額** 約二百七十三万円
- (うち助成額 二百五十万円)**

※(財)長野県市町村振興協会は、市町村振興事業の一環として、地域におけるコミュニティ活動に対し、市町村振興宝くじ(サマージャンボ)の収益金により助成を行い、コミュニティの健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報事業を行っています。

問い合わせ先 総務課企画係内線二五八



第十区が購入した暖房機等



第一区が購入した機器類

